

野田 九条通信

2009年2月号

No.39

「野田・九条の会」事務局

Tel 7122-0502

野田九条の会ホームページ
http://www17.ocn.ne.jp/~art.9/

今年の活動計画を決める 若い人の参加増が課題

野田九条の会は1月10日今年初めての定例会を開き、昨年の活動を振り返り、その後今年の活動計画について話し合いました。昨年の行事、活動は計画通り実施できたが、参加者は減少傾向があり、若い方々の参加をどう増やすか、などの課題が出ました。



① 4月 戦争を知る旅
「無言館と松代」
長野県上田市の戦没画

学生を集めた美術館と戦時中に本土決戦に備え、皇居や大本営などの

② 8月 「平和のための戦争展」
実行委員会に参加。今年で3回目を迎える催し。

③ 10月11月 講演会とアピール
この3つの他、毎月の署名、チラシ配布や社会状況に応じた直接行動なども行うこととしました。

ご参加下さい

定例会 2月7日(土) 午後2時～5時
樺のホール4階研修室(都合により第1土曜日)

署名活動 2月9日(月) 午後4時～5時
愛宕駅

チラシ配布 2月19日(木) 10時に梅郷駅東口に集合し、グリーンパーク団地配布

「映画『日本の真実』 日本国憲法制定の真相

野田市樺のホール小ホール 2月14日(休日)
10時～13時 13時～16時 16時～19時
前売り券大人500円 高校生以下300円

九条への思い

ウーウーウーと空襲警報のサイレンが響き、空にはゴォゴォと戦闘機やB29爆撃機が我がもの顔で飛び、バラバラと爆弾の雨を落とす。地上のいたる所でドカンドカンと爆弾の破裂音と火災の発生。逃げ惑う人々の怒声と悲鳴。「助けてーお母ちゃん」の悲痛な子どもたちの声。

平和の象徴 9条と青い空

野田九条の会賛同者 渡邊勝男

63年前の「玉音放送」。分らなかつたが、大人たちが口々に「戦争が終わった」と。見上げた真夏のぎらぎら輝く「青い空」。このきれいな空を永遠に子どもらに伝えようと誓う。15年戦争と言われた日本の侵略戦争。日本帝国主義は、罪のないアジアの人々2千万人以上も殺し、300万人以上の日本人の尊い命を犠牲にしました。この悲惨な戦争の教訓から、私たちは新しい憲法を創りました。前文で「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ころし、一國権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決手段としては、永久にこれを放棄する。この目的を達するため、陸海軍も追認しようとする動きもありません。全世界で輝きを増す「憲法9条」。「青い空」を子どもらや孫に伝えましょう。

「九条への思い」への400字程度の原稿をお待ちしています。

～米軍再編と自衛隊の今～

米軍と一体化する自衛隊、必然化する憲法破壊

米軍再編は、日本にある米軍基地が再編されるだけでなく、自衛隊が米軍と一体化することです。米軍指揮下で自衛隊が活動する事を意味します。集団的自衛権行使であり、憲法破壊であることは明白です。また、自衛隊の海外での活動拡大を目的に政府は派兵恒久法のグローバル化を推し進めるものです。平和憲法下でのこうした動きは憲法を徐々に“安楽死”させています。その矛盾が自衛隊による事故や事件となって現れているのです。

その一方「市場原理」「自己責任」の下で医療・福祉の切り捨てがどんどん行われています。格差という名の貧困も蔓延しています。働く人の4人に1人が年収200万円以下のワーキングプアです。この生きにくい世の中、実は戦争と無縁ではありません。次のような膨大なお金が関係しているのです。(三橋トキ子)

- ・ 日本の防衛費 4.8 兆円(世界中の地雷を撤去できます。国民の負担年間一人当たり 3.7 万円。米国 52 兆円とあわせると世界の半分)
- ・ 国家公務員給与の 4 割が自衛隊員の給与(障害者への給付金 2 兆円を上回る)
- ・ 米軍再編の為に日本の負担 3 兆円(06 年の生活保護費 2.7 兆円)
- ・ 米軍への“思いやり予算”年間 2000 億円
- ・ PAC3(パトリオットミサイル)1 発 5 億円、1 回の発射訓練に 23 億円(サラリーマンの生涯賃金 2~3 億円、フリーター 6,000 万円)
- ・ イージス艦 1 隻 1400 億円、搭載の SM3(スタンダードミサイル)1 発 20 億円、1 回の発射訓練に 60 億円
- ・ ミサイル防衛に要する費用 2010 年までに 1 兆円、最終的に 6 兆円
- ・ 軍需産業トップの三菱重工の防衛省契約高 3,275 億円

「アフガンに緑の大地を 伊藤和也君追悼写真展」

ペシャワール会主催 東葛実行委員会へのお誘い

昨年 8 月ペシャワール会(アフガニスタンで医療活動、大規模な灌漑用水路の建設、農業事業などを行っている NGO 組織)のワーカーとして活動してきた伊藤和也さんが、殺害されるという大変痛ましい事件が起きてしまいました。アフガンの人々とともに生きた伊藤さんの足跡をたどり、現地の人々に信頼されたあかしでもある伊藤さんが撮りためた現地の人々の写真を見てもらおう写真展を開催するための実行委員を募集しています。開催は 5 月下旬、柏か松戸で 1 週間を考えています。東葛地区の関心のある団体、個人の参加で実行委員会が発足しました。第 2 回実行委員会は 2 月 27 日(金) 10 時~12 時 柏市中央公民館 3 階会議室です

連絡先 田口 (7129-4297) 、富村 (7125-4153)